

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)南橋本三丁目プロジェクト新築工事	階数	地上4F
建設地	相模原市中央区南橋本三丁目35番5外	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条指定地域	平均居住人員	465 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2021年7月6日
敷地面積	11,246 m ²	作成者	株式会社組東京本店一級建築士事務所
建築面積	7,867 m ²	確認日	2021年7月7日
延床面積	22,566 m ²	確認者	株式会社組東京本店一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	72%
③ 上記+②以外の	72%
④ 上記+	72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 0.0
Q2 サービス性能: 3.5
Q3 室外環境(敷地内): 2.5
LR1 エネルギー: 3.5
LR2 資源・マテリアル: 3.7
LR3 敷地外環境: 3.6

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

機能性	耐用性	対応性
N.A.	3.0	4.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	まちなみ	地域性
2.0	3.0	2.5

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

建物外皮の	自然エネ	設備システ	効率的
1.0	3.0	5.0	2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

水資源	非再生材料の	汚染物質
3.4	3.8	3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

地球温暖化	地域環境	周辺環境
4.1	3.5	3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
JR相模線南橋本駅から徒歩5分の工業専用地域に、倉庫単一用途のS造・4Fの建物を計画した。	特になし
Q1 室内環境 0	Q2 サービス性能 空調室外機に防振架台を採用/給排水管に長寿命材を採用/階高や空間の形状にゆとりを持たせ将来の用途変更可能な計画
LR1 エネルギー BEIm=0.41、LED照明設備を採用している。	LR2 資源・マテリアル 節水コマに加えて、節水型便器を採用。リサイクル資材を3品目以上採用。
Q3 室外環境(敷地内) 0	LR3 敷地外環境 燃焼機器を採用していない。 駐輪・駐車場及び荷捌き車両の駐車施設を確保し、2カ所の出入口をトラック専用と普通自動車専用の車両出入口として周辺道路の渋滞緩和対策としている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される